

第1回井口地域小中一貫校設置協議会会議録（要点記録）

【日時】 令和2年6月30日（火）開会：午前10時00分 閉会：午前11時44分

【場所】 南砺市役所 福光庁舎別館3階 大ホール

【出席委員】 15人

| | | | | | |
|-------|-----|-------|------|--------|--------|
| 成瀬 喜則 | 委員長 | 松本 謙一 | 副委員長 | 山越 哲也 | 委員【代理】 |
| 新明 春生 | 委員 | 今井 幸代 | 委員 | 加藤 久恵 | 委員 |
| 石黒 公一 | 委員 | 山下 透 | 委員 | 小林 加津實 | 委員 |
| 中山 秀一 | 委員 | 柳田 由紀 | 委員 | 武部 眞理子 | 委員 |
| 山崎 宏充 | 委員 | 藤田 洋一 | 委員 | 川森 純一 | 委員 |

【欠席委員】 3人 野原 浩昭 委員 光地 英明 委員 光地 智子 委員

【事務局員】

| | | | |
|----------|-------|----------------|-------|
| 教育部長 | 村上 紀道 | 教育総務課 | 氏家 智伸 |
| 教育総務課副参事 | 高田 公美 | 教育総務課副主幹(学務係長) | 野村 大輔 |
| 教育センター所長 | 瀬戸 広美 | 教育部参事 | 溝口 早苗 |

【協議事項等】

1. 開会 委員長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 募集方法について
 - (2) 教育カリキュラムについて
 - (3) 校歌、校章について
 - (4) 保育園との連携について
3. 次回協議会の日程
4. 閉会 副委員長あいさつ

【会議の概要】

○開会

教育総務課長 只今より、令和2年度第1回井口地域小中一貫校設置協議会を開会いたします。新年度にあたりまして7名の委員さんが交代されました。本日は野原委員、

光地英明委員、光地智子委員から欠席のご連絡をいただいています。梶委員の代理として山越教頭にご出席いただいております。

1. 委員長あいさつ

教育総務課長 開会にあたり、委員長から挨拶をお願いいたします。

委員長 昨年度は特徴ある制度や校名等をご議論していただきまして、井口地域の義務教育学校を特色のある学校にしたいという皆さまの熱い気持ちが伝わった1年間であったと思います。これからは、カリキュラムや校歌等の細かい部分の連携や特徴づくりについて、みなさまの貴重なご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

2. 協議事項

(1) 募集方法について

委員長 募集方法について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料1の説明】

委員長 各委員からのご意見をお願いいたします。

委員A これまで、井口地域在住の児童生徒が他地域の学校に就学する際には、指定学校変更が認められていた。井口義務教育学校の入学を希望しない場合は、他地域へ指定学校変更も認められるということなのでしょうか。今までと変更はないということですか。

事務局 指定学校変更は基本的に理由がないと認めておりません。住所を移した校区に就学することが基本となっています。義務教育学校は、他地域からも受け入れる場合、この指定学校変更と同様な考え方になります。井口地域から他地域に就学したい場合は、住所を移さずに指定学校変更をすることになります。

(2) 教育カリキュラムについて

事務局 【資料2の説明】

委員長 前回のカリキュラムで変更点があったのでしょうか。

事務局 時間割の部分で、探究の時間を帰りの会の後ろに設けました。前は、5限の前に探究の時間を設けていましたが、探究が単位にならないことや5限への切り替えができるのかというご意見をいただきまして、変更させていただきました。

委員長 5限までが教育課程になり、帰りの会や探究の時間、部活動は教育課程外の活動になるかと思います。探究の時間は部活動というよりも、個人の目標をどうやって達成するか個人で考え取り組む時間になり、他の学校にはない特徴のあるカリキュラムになるかと思います。探究の内容については小中学校で具体的に考えていく必要があ

るのかなと思います。例えば、資料の6ページの「ふるさと学習」のような地域に根付いた学習が3つあります。3つとも既に学校で行っているのでしょうか。

委員B 現在、井口小学校では「ふるさと学習」と「地域の達人から学ぶ椿学習」を行っています。ふるさと学習につきましては、井口地域の方に教わりながら、さつまいもを栽培しています。収穫したさつまいもは、地域の方を招待して感謝の気持ちを伝える。今後は南砺市内に活動を広げ、南砺市に貢献できる人材を育成していきたいと思っています。地域の達人から学ぶ椿学習では、新入生は種を植え、2年生から鉢をどんどん大きくして、中学校に繋ぎ、椿を栽培しています。地域の方から学び、傳承していくことを第一に考えています。

委員C 中学校の起業体験学習では、小学校の活動を活かして、地域の課題に迫り、自分たちの力で、地域への貢献や地域の活性化を目指す活動を行っています。地域の方とともに、起業体験を通して地域活性化のために、野菜を売るなど椿館を中心に人が集まる活動を考えました。地域の方とどのように関わればいいのか、どのように商売をすればいいのかを教えてもらいながら、課題活動を行ってきました。

委員長 地域の方とのふれあいを通しながら、活動をしているんですね。

委員D 1年生から4年生まで部活動は希望制にしています。帰りの会が14時20分に終わり、帰宅する児童について、学校が家から近い児童はいいのですが、家が遠く迎える遅くなる児童の対応はどうようになれるのでしょうか。

事務局 井口地域では、井口地域づくり協議会の方でいのくち放課後クラブを設けています。井口義務教育学校が設立された後も、引き続き設ける予定です。迎える遅くなる児童にも対応できると思います。

委員D 現在、井口市民センターの2階にいのくち放課後クラブがありますが、新校舎内に設置するのでしょうか。

事務局 今後の話になるのですが、現在の井口小学校のランチルームに設けたいと思っています。いつ頃から設置できるかは決まっていません。

委員E ランチルームをいのくち放課後クラブに使用して、現在の小学校の体育館に保育園につなぐ渡り廊下を設置すると聞いています。いのくち放課後クラブ・保育園・学校との体育館の利用については、関係者が集まり検討する必要があります。

事務局 保育園から渡り廊下で小学校体育館と繋がり、ランチルームをいのくち放課後クラブとして利用するため、体育館といのくち放課後クラブも繋がることとなります。新校舎と体育館も繋がります。それぞれ、利用する時間帯はバラバラになると思いますが、整備された際には、関係者等が集まって協議していきたいと思っています。

委員A 今年度から小学1年生は週4時間授業数が増えて、負担が大きくなるという意見があったと思います。数ヶ月が経ち、今の小学校低学年の様子を教えてくださいませんか。

委員B 1年生の授業数が増えているのは、新たに外国語活動を設けたためです。まだ始まったばかりで、ようやく慣れてきた頃です。外国語活動に関しては、とても楽しく時間を忘れて取り組んでいます。廊下ですれ違えば「ハロー」とあいさつをしたり、英語の質問に答えたり、楽しく学んでいるのではないかと思います。心配されているように、来年度からどのような活動をしていけばいいのか、考えているところです。

委員F 学校の教育目標や具体的な特色を運用していく中で、やってみて思ったことなどを今後相談していけばいいと思います。大きな特色の中身を充実していくために、協議してきたと思います。2、3年後に特徴ある学校として評価されるのではないかと思います。

委員G 現在の小中学校の魅力というのは何か。この義務教育学校の最大の魅力とは何だろうか。今あるものを新たに作るのか、まったく違うものを作ろうとしているのか、どう思っているのかの認識が大事になると思います。

副委員長 まったく違うものを作るということは不可能だと思っています。現在ある学校を基盤としながら、新しい義務教育学校を作るにあたって、全てが新しいのではなく、現状で何が必要なのかという視点から、新たなことに挑戦していく学校を作っていきたいと思います。

委員G 井口地域の子供たちは、自分たちの力を精一杯伸ばしていこうとする姿勢が最大の魅力だと思っています。井口義務教育学校は小規模学校であり、メリットやデメリットがあると思います。探究の時間があることや、他にも小規模校を活かした様々なメリットがあります。小規模校で学びたいと思う保護者等に小規模校としての特色をよりアピールしていかなければならないと思います。

委員長 6つの特色がありますが、地域を特に意識しています。また、探究の時間も個別化するという小規模校だからできることであり、特色の1つだと思います。小規模校をどれほど前面に出していくのかは、議論すべき内容であるかと思っています。

委員H これまでの説明で「地域」という言葉がたくさん出てきています。どこまでの地域になるのでしょうか。福野在住の児童にとっては福野地域が地域になると思います。「地域から学ぶふるさと教育」とありますが、他地域から入学する児童生徒に対してどのように対応していくのでしょうか。

委員長 昨年度の議論でも「井口学」といった井口地域の学習があったかと思っています。他地域からの入学者を想定して、「南砺学」としていましたが、具体的な内容については触れてなかったと思います。何か考えているのでしょうか。

委員C 転校生が入った時などは、地域の方は温かく接してくださいました。他地域からの入学者がいた場合も同じかと思っています。今年度までは「井口学」としてはいますが、来年度からは「南砺学」として、井口だけではなく南砺市のことを学ぶ予定にしています。例えば、福野の夜高祭りや五箇山の祭りなどについて学ぶことになります。他

地域からの入学でも、同じ南砺市の子供として育てていきたいと思っています。

委員 H 他地域からの子供や保護者も心配することだと思うので、安心されるように育ててほしいと思います。

委員長 教育カリキュラム等については、今後運用していく中で、修正や変更などしていくかと思しますので、今後の課題として議論させていただければと思います。

(3) 校歌、校章について

委員長 校歌、校章について、事務局から説明をお願いします。

事務局及び委員 B 【資料 3 の説明】

委員長 校章について、いくつも案がでています。この中から選ぶのか、それとも、他に加えたり、修正したりすることは可能なのでしょうか。

事務局 今の段階で修正ができるかどうか、確認していないため分かりません。このデザインは出来たばかりで、みなさまにお見せするのが初めてです。総務部会や児童生徒にもお見せしていません。児童生徒からも様々なご意見をいただいて、総務部会の方で審議し、最終的に協議会で決定したいと思っています。

委員長 各委員からのご意見をお願いいたします。

委員 F 校章案に赤と黒の 2 色あるのですが、違いがあるのでしょうか。

事務局 黒と赤の色の違いについては、意見がありませんでした。この色が良いという意見がありましたら、デザイナーへお伝えしたいと思います。

委員 E 制服が紺色なので、制服の胸や肩につけても目立つ色にしていきたいと思っています。また、校名は「つばき」とひらがなですが、この案では漢字になっているのは、何か考えがあったのでしょうか。

委員長 校章について、児童生徒や保護者にアンケートをとったのですか。

事務局 校章については、昨年度、児童生徒に冬休み中に案を考えてもらいました。この案をベースに考えていただきました。その中には、「椿」「つばき」「学」という字をモチーフとした案が多くありました。

委員長 「椿」「つばき」の校名に合わせるのか、校章の色と服装の関連についても検討していただきたいと思います。

事務局 デザイナーに制服の色についてお伝えしていなかったなので、服装との色合いをお伝えしたいと思います。

委員 I 校名、制服は保護者等の意見を聞いておられました。校章はこれから決まるということなので、同様にできれば子供たちの意見を聞いてあげてほしいと強く思いま

す。

事務局 体操服や制服は、保護者と子供たちの意見やアンケートから決定いたしました。それを踏まえ総務部会の方で今後決めていきたいと思えます。

委員A A案、B案のコンセプトの中に「6年間による成長」とありますが、これは「9年間」ではないでしょうか。また、校章の色ですが、黒より赤の方がいいと思えます。赤は、椿や魔よけの色です。めでたい水引も赤色が多いので赤がいいと思えます。

委員長 今、いただいた意見をもとに総務部会の方で検討していただきたいと思えます。校章はいつ頃決まる予定ですか。

事務局 校名が決まらないことには決められないので、校名が決まってからになります。

(4) 保育園との連携について

委員長 保育園との連携について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料4の説明】

委員長 小中学校は一体化するので1つの学校になり、保育園との連携も取りたいということで、大事な観点かと思えます。各委員からのご意見をお願いいたします。

委員J 保育園の施設について、少し手狭に思っております。来年度、0歳児が5人、1歳児は6人になり、本来は別の部屋にいなければいけないのですが、できない状態です。今後、保育園施設についても検討していただきたいです。連携について、今まで通り一緒に取り組んでいきたいと思えます。

事務局 施設整備の話がありましたが、市内全体の学校、保育園の状況をみて優先順位の高い施設から設備させていただきたいと思えます。

委員長 特徴ある学校づくりに地域の方と学校で協力していただきたいと思えます。南砺の子供たちを意識して教育方法を考えていただきたいです。

3. 次回協議会の日程

教育総務課長 校歌、校章につきましては、次回の協議会で示したいと思えます。次回の協議会は、9月ごろを予定しています。日程は決まり次第、御連絡させていただきます。

4. 閉会 副委員長あいさつ

教育総務課長 長時間に渡り、ご協議を賜りありがとうございました。閉会にあたり松本副委員長から閉会のご挨拶をお願いいたします。

副委員長 今日はお忙しいところ、貴重なご意見ありがとうございました。この義務教育学校ができることをとても楽しみにしています。1つ目は、どのような義務教育学

校になって、先生や子供たちが目を輝かせながら、どんな授業をしてくれるのだろうか。他の小中学校の校長先生にも、この義務教育学校のカリキュラムについて話をします。他の小中学校も工夫してきます。工夫していくことが南砺の子供たちにとって、有意義なことだと思います。まだ、決めなければならないこと、乗り越えていかなければならないことがいくつかあります。教育委員会、学校、地域とも相談しながら、来年度の開校に向けて頑張っていきたいと思います。本日は、長時間ありがとうございました。

教育総務課長 以上をもちまして本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。